

(1)米粉商品開発等支援対策事業（ソフト事業）

米粉を原料とする商品開発・製造等に必要な食品製造業者等の取組を支援（1/2補助）

○主な交付決定者【交付決定数：全83事業者】

企業名	事業概要
ケンミン食品(株) (兵庫県)	国内産米粉を主原料とする高品質なラーメン等の開発、販売
(株)ニッポン (東京都)	家庭用等の米粉の新商品の開発、販売
東北日本ハム(株) (山形県)	米粉のホットドック、食パンの開発・販売
(株)BIOSSA<神明子会社> (東京都)	BtoBの取引に向けた米粉パンの開発、販売
みたけ食品工業(株) (埼玉県)	用途に対応したミックス粉等の新商品の開発、販売
熊本製粉(株) (熊本県)	新品質の米粉配合パン用ミックス粉の開発、販売
(株)熊本玄米研究所 <(株)中九州クボタ子会社> (熊本県)	玄米ペーストを使った玄米パンや玄米麺の開発、販売
(株)タカキベーカリー (広島県)	米粉の特徴を生かした米粉を使ったパンの新商品の開発、販売
(株)ひよ子 (福岡県)	米粉を配合したクッキー、サブレ、スポンジケーキ、まんじゅう4製品の菓子の開発、販売
(株)中村屋 (東京都)	皮に米粉を配合した中華まんの開発、販売

(2)米粉製品製造能力強化事業等（ハード事業）

製粉業者、食品製造業者による米粉・米粉製品の製造、施設整備及び製造設備の増設等を支援（1/2補助）

○交付決定者：全8事業者

(株)タイナイ（新潟県）

<事業概要> 拡大が見込まれる角食パンの増産及び業務用冷凍パンの新規製造を行うための機械の導入及び建屋の建設

(株)波里（栃木県）

<事業概要> 米粉製造量増産に対応した米粉処理加工機械の導入及び建屋の建設

日本ハイドロパウテック（株）（新潟県）

<事業概要> 米粉を活用したアレルギーフリーチョコレート及びパウダーを製造するための機械の導入

中島製粉（株）（福岡県）

<事業概要> 米粉の需要増に対応するために必要な米粉製粉設備を導入

(株)いつみ家（山梨県）

<事業概要> 米粉を使用した惣菜の製造・販売を行うために、新規に米粉の製粉工場を新設

(株)ヤマダ（滋賀県）

<事業概要> 米粉製造量増産に対応した施設及び米粉製造ラインの導入

(株)ホリ乳業（石川県）

<事業概要> 米粉を用いたライスミルクヨーグルトを製造するためのライン導入

(株)スワロー食品（神奈川県）

<事業概要> 米粉を使用した春巻きの製造能力向上のために製造ラインを新設

(3)米・米粉消費拡大対策事業（ソフト事業）

外食事業者と連携したイベント、TVCM等を活用した情報発信等の実施。

米粉を使用した商品について

○ 令和4年度補正予算「米粉商品開発等支援対策事業」で開発された新商品の一例。

(株) 波里 (栃木県)



米粉

地元産の米粉専用品種「笑みたわわ」を使用。家庭用小袋は米粉が使いやすいようにチャック付きのパッケージに改良。今後は、他の品種でも製品化に取り組むとともに、どのような用途に適しているのか研究を続ける。

【販売ルート】 ECサイト、スーパーマーケット

(株) タカキベーカリー (広島県)



食パン、ロールパン

全国から寄せられたお客様の声に応え、米粉パンに注力。普段の食事に米粉パンを取り入れてもらえる新たな商品を開発。今後もスーパーで手軽に手に入る米粉パンを開発していく。

【販売ルート】 スーパーマーケット

アルファ電子 (株) (福島県)



パスタ

電子・機械部品メーカーが、産学連携事業で地元福島県産「天のつぶ」を使用した米粉100%のパスタを開発。まとまりのある、もちもちした食感のパスタを実現。

【販売ルート】 生協による宅配・共同購入等

(株) JR東日本クロスステーション (東京都)



ケーキ、クッキー、レモンケーキ

グルテンフリーケーキのニーズの高まりにより、3種類のクリスマスケーキを開発。クッキーやレモンケーキは、国産米粉が使用されていることが分かりやすいようにパッケージもリニューアル。

【販売ルート】 駅コンビニ、ECサイト

ケンミン食品 (株) (兵庫県)



ビーフン

数品種の米粉を配合し、国産米100%のビーフンを開発。つるつるしたのどごし、しっかりとしたコシに。現在は直営レストランでビーフンメニューを提供中。今後は飲食チェーンへの売り込みを進め、国産ビーフンの普及を図る。

【販売ルート】 自社外食店舗

ウズ (株) (東京都)



タルトケーキ、クッキー

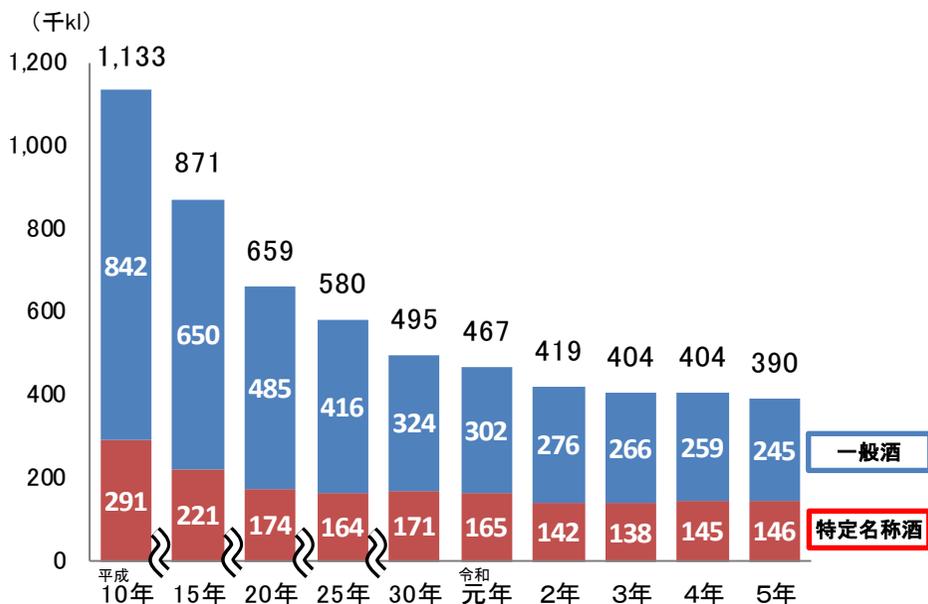
タルト専門店「AM STRAM GRAM」を運営。米粉ならではの食感を活かした米粉タルトを展開。クッキーやカスタードクリームにも米粉を使用。今後も新たなタルトのラインナップを増やしていく。

【販売ルート】 自社小売店舗、ECサイト

日本酒の需要動向と原料米の使用量について

- 日本酒原料米の使用量については、日本酒出荷量の減少に伴い減少傾向にある。
- 令和4年は、国内出荷量については、日本酒全体としては、前年と同水準で推移しており、一般酒が対前年比▲3%と減少する中、酒造好適米を多く使用する特定名称酒は対前年比+5%と増加。輸出量については、海外での日本食ブーム等を背景に対前年比+12%と増加。
- 令和5年は、国内出荷量については、特定名称酒は前年と同水準で推移したものの、一般酒が対前年比▲6%と減少し、日本酒全体としては、対前年比▲3%と減少。輸出量についても、アメリカ、中国等への輸出の減少により、対前年比▲19%と減少。

○ 日本酒の国内出荷量の推移



資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和5年12月分の石川県のデータが一部未集計となっている。

注1：国内出荷量は、清酒課税移出数量。

注2：日本酒は、一般酒のほか、原料、製造方法等の違いによって吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

○ 日本酒原料米の使用量

(単位：千トン)

	平成10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	令和元年産	2年産	3年産	4年産
日本酒原料米	405	315	261	243	227	206	180	184	198
酒造好適米	99	75	77	76	88	83	70	67	73
加工用米	86	89	74	95	90	85	63	67	71
その他	220	151	110	72	49	38	47	50	53

資料：農林水産省による推計値。

○ 日本酒の輸出量の推移

(単位：kl)

	平成10年	15年	20年	25年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	対前年比
日本酒輸出量	8	8	12	16	26	25	22	32	36	29	81%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	6	6	5	9	9	7	72%
中華人民共和国	0	0	0	1	4	5	5	7	7	6	78%
香港	1	1	1	2	2	2	3	3	3	2	86%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	101%
大韓民国	0	0	2	4	5	3	2	2	4	4	103%
その他	2	2	3	4	6	6	5	8	10	7	76%

資料：「貿易統計」(財務省)。年は暦年。

注：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

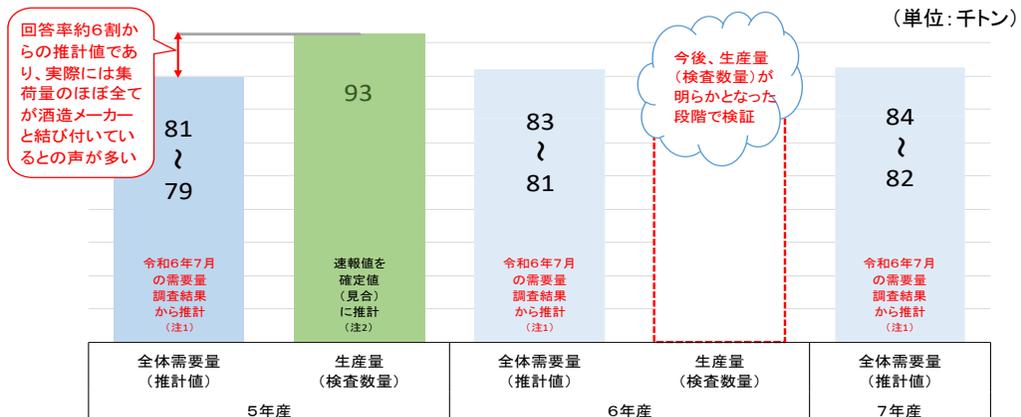
酒造好適米の需要に応じた生産について

- 酒造好適米の需要に応じた生産に向けて、生産及び実需の関係者による「日本酒原料米の安定取引に向けた情報交換会」を毎年開催するとともに、需要に応じた生産を行うための指標として、平成28年度から全酒造メーカーを対象とした酒造好適米等の需要量調査を実施。
- 令和6年7月に実施した需要量調査によると、令和5年産の全体需要量（推計値）は79～81千トン程度、令和6年産の全体需要量（推計値）は81～83千トン程度、令和7年産の全体需要量（推計値）は82～84千トン程度と見込まれる。
- 令和5年産については、生産量（推計値）が全体需要量（推計値）を12～14千トン程度上回っているものの、生産及び実需の関係者からは、実際には集荷量のほぼ全てが酒造メーカーと結び付いており、過剰感はないとの声が多く、その差は全体需要量を聞き取り結果（回答率約6割）から推計していることによるものと考えられる。
- 令和7年産については、各産地において、今後、全体需要量の変動する場合があることに留意するとともに、令和6年産の生産動向及び酒造メーカーからの最新の需要動向等を踏まえ、引き続き需要に応じた生産に取り組むことが重要。

調査の実施状況

	令和6年度
調査期間	令和6年7月
調査対象	酒造メーカー 1,205社
回答数	711社
回答率 (数量ベース)	81～83%

酒造好適米の全体需給状況の見通し（推計）



⑤ コメの輸出・輸入

コメ・コメ加工品の輸出実績

品目名		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2024年		(参考) 主な輸出先国・地域
						対前年比	1~8月	対前年同期比		
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	35,531トン	36,569トン	45,959トン	53,931トン	58,473トン	+8%	42,259トン	+16%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国
	金額	329億円	347億円	524億円	613億円	577億円	-6%	392億円	+7%	
コメ (援助米を除く)	数量	17,381トン	19,781トン	22,833トン	28,928トン	37,186トン	+29%	27,847トン	+23%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	46億円	53億円	59億円	74億円	94億円	+27%	73億円	+29%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,033トン	4,222トン	5,141トン	4,523トン	4,565トン	+1%	2,905トン	+1%	アメリカ 台湾 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	3,428トン	3,589トン	4,370トン	3,845トン	3,880トン	+1%	2,469トン	+1%	
	金額	43億円	45億円	56億円	55億円	61億円	+11%	40億円	+8%	
日本酒 (清酒)	数量	24,928 キログラム	21,761 キログラム	32,052 キログラム	35,894 キログラム	29,196 キログラム	-19%	19,699 キログラム	+3%	アメリカ 中国 香港 韓国 台湾
	原料米換算	14,041トン	12,257トン	18,054トン	20,218トン	16,445トン	-19%	11,096トン	+3%	
	金額	234億円	241億円	402億円	475億円	411億円	-13%	269億円	+1%	
パックご飯等	数量	1,018トン	1,205トン	1,129トン	1,384トン	1,593トン	+15%	1,406トン	+45%	アメリカ 台湾 香港 オーストラリア シンガポール
	原料米換算	535トン	634トン	594トン	727トン	837トン	+15%	739トン	+45%	
	金額	5億円	7億円	6億円	8億円	10億円	+26%	9億円	+45%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量	118トン	249トン	88トン	173トン	101トン	-41%	87トン	+53%	アメリカ タイ ドイツ 台湾 ロシア
	原料米換算	146トン	308トン	108トン	213トン	125トン	-41%	108トン	+53%	
	金額	0.3億円	0.7億円	0.6億円	1.0億円	0.8億円	-21%	0.8億円	+67%	
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品	数量 (原料米換算)	18,062トン	20,723トン	23,535トン	29,868トン	38,148トン	+28%	28,694トン	+24%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 カナダ
	金額	52億円	60億円	66億円	83億円	105億円	+27%	83億円	+31%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

注3：「(参考) 主な輸出先国・地域」は2024年1～8月の輸出金額上位5か国・地域を記載。

商業用のコメの輸出数量及び輸出金額の推移

○ 2023年のコメの輸出数量は対前年比29%増の37,186トン、輸出金額は対前年比27%増の9,411百万円

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年 (1~8月)	
	数量 トン	金額 百万円										
輸出合計	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)	37,186 (+29%)	9,411 (+27%)	27,847 (+23%)	7,348 (+29%)
香港	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880	2,344	11,301	2,630	8,195 (+16%)	1,983 (+21%)
アメリカ	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459	1,169	6,883	1,768	5,369 (+34%)	1,508 (+46%)
シンガポール	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742	1,201	5,593	1,153	3,998 (+16%)	847 (+20%)
台湾	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532	716	3,116	877	2,114 (+15%)	589 (+14%)
カナダ	158	51	205	62	210	69	382	104	1,629	394	1,441 (+66%)	361 (+67%)
オーストラリア	770	233	1,074	334	893	283	1,245	390	1,204	386	831 (+14%)	273 (+19%)
タイ	578	145	555	145	625	162	1,045	256	1,299	307	1,063 (+33%)	269 (+46%)
イギリス	450	131	451	131	332	104	526	162	587	193	601 (+76%)	199 (+85%)
ドイツ	140	52	144	58	185	68	239	81	582	186	565 (+67%)	179 (+62%)
中国	1,007	363	1,002	321	575	219	764	262	526	170	69 (-79%)	23 (-77%)
フランス	93	40	112	49	173	72	237	93	395	135	320 (+19%)	113 (+26%)
スペイン	31	12	7	4	13	10	87	28	544	135	427 (+27%)	111 (+32%)
その他	1,597	465	1,564	443	1,766	603	1,790	576	3,527	1,078	2,854	894

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：2023年1～12月の輸出金額上位国・地域を記載。

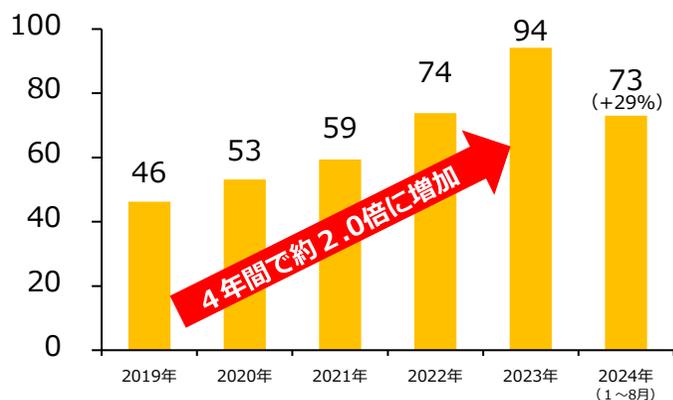
注2：（ ）内は対前年同期増減率である。

コメ・パックご飯等・米菓の輸出実績の推移

- コメについては、海外における日本食レストランやおにぎり店などの需要開拓を進めた結果、2023年の輸出額は94億円（対前年比+27%増）となり、直近4年間で倍増。2024年上半期も、外食向けを中心に堅調に増加。
- パックご飯等については、台湾でのEC向けの販売やアメリカでの小売向けの販売等が堅調であったことから、2023年の輸出額・輸出量はともに増加。2024年上半期も主にアメリカ向けEC・小売向け等で堅調に増加。
- 米菓については、韓国での小売店からの引き合いの増加等があったものの、サウジアラビアでの買い控え等による減少があったため、2023年の輸出額は増加、輸出量は前年並。2024年の上半期は小売向けを中心に輸出が伸びており、輸出額・輸出量はともに増加。

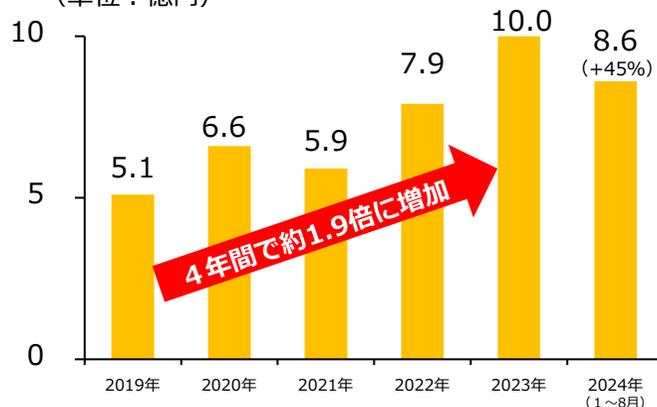
● コメの輸出実績

(単位：億円)



● パックご飯等の輸出実績

(単位：億円)

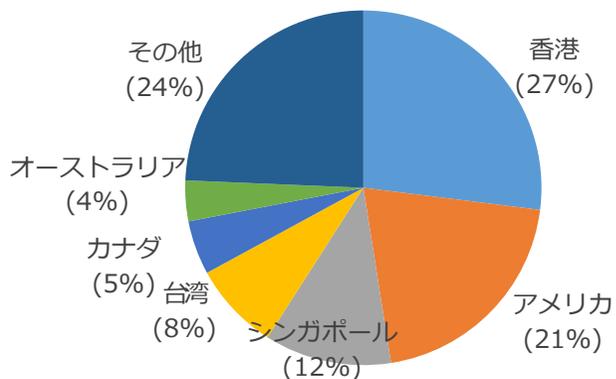


● 米菓の輸出実績

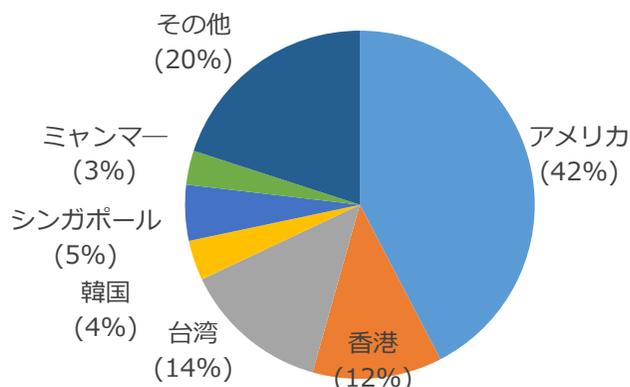
(単位：億円)



■ コメの輸出先国・地域内訳 (金額ベース)(2024年1~8月)



■ パックご飯等の輸出先国・地域内訳 (金額ベース)(2024年1~8月)



■ 米菓の輸出先国・地域内訳 (金額ベース)(2024年1~8月)

